

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

富山市長

市町村名 (市町村コード)	富山市 (162019)
地域名 (地域内農業集落名)	水橋地区  (上砂子坂、下砂子坂、下砂子坂新、伊勢領、五郎丸、小池、堅田、鏡田、上桜木、恋塚、桜木、狐塚、石政、開発町、柳寺、市江、館町、中村町、朝日町、荒町、大正町、辻ヶ堂、堂畠等、新保、清水堂、金広、中馬場、北馬場、田伏、佐野竹、石割、平塚、曲淵、大正南部、専光寺、高寺、大正北部、小出裏坪、小出上屋、小出東町、小出表坪、開発、常願寺、入江、入部町、二杉、柴草、沖、小路、的場、市田袋、肘崎、中村、伊勢屋、池田館、池田町、二ツ屋、高堂、金尾、上の場、金尾新、新堀)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和5年12月18日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

### (1) 地域農業の現状及び課題

現状では、ほ場整備されていない狭小な農地が多いなどから、農地集積・経営規模の拡大が進んでいない状況となっている。このため、国営・県営のほ場事業を実施し、農地の土地利用を計画的に再編し、担い手への農地の利用集積などを目指している。

課題として、地域農業の担い手については、この中心となる認定農業者等の担い手が比較的多く存在し、大きく不足してはいないものの、個人経営体については、農業者の高齢化が進んでおり、担い手の確保が必要となっている。

また、ほ場整備の実施及び計画がない狭小な農地については、生産性が低いことから、継続した耕作や担い手農家への集積・集約の促進が課題となっている。

### (2) 地域における農業の将来の在り方

認定農業者が水稻(加工用米、備蓄米含む)や露地野菜を中心に作付けを行い、離農や規模縮小する農家の農地を借り受けることで農地の有効利用並びに耕作放棄地の解消を目指す。国営や県営でほ場整備を行った地域を中心に、地域全体でスマート農業の導入を進めるとともに、高収益作物の作付けとその面積拡大を図りながら、省力化と生産性の向上に取り組む。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

### (1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	928 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	928 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

### (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

市街化区域を除く農用地、農業振興地域の農用地を基本とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、認定農業者や新規就農者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地の出し手は原則として農地中間管理機構を活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
国営農地再編整備事業や農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用し、農用地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を令和15年度までに実施する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
富山県や富山市、JAと連携し、地域内外から多様な経営体の参入、就農を支援し、確保・育成を図る。また、栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援など、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地域内で農作業の効率化を図るため、農業協同組合が出資する法人の「株式会社 6時のそら」を中心に高収益作物等に係る農作業委託の活用方針を継続して検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ③地域全体でスマート農業の導入を進める。
- ④古代米などの輸出の拡大に取り組む。
- ⑩高収益作物の作付けとその面積の拡大を図りながら、省力化と生産性の向上に取り組む。